



平成30年度

認知症予防とその対策

2012年時点で全国で462万人と推計されていた認知症高齢者数が、2025年には約700万人、65歳以上の高齢者の約5人に1人に達すると見込まれています。2015年には国で「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)が策定され、全国の自治体では様々な施策が展開されています。

この研修では、具体的な先進地の取り組みや最新の知見、また全国各地の同じ業務を担当している受講者同士での意見交換を通じて、2025年に向けて自団体における認知症施策をどのように進めていくか考えます。

開催要領

日程 平成31年2月13日(水)～2月15日(金) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 認知症施策に携わる市町村や社会福祉協議会等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。
なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数 50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成31年1月15日(火)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成31年

2月

13日(水)

11:00 ~ 入寮受付・昼食

12:30 ~ 開講・オリエンテーション

13:00 ~ 14:50

講義 認知症のメカニズムと予防+意見交換・質疑応答

東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員(主任) 鈴木 宏幸 氏
最新の知見を踏まえた認知症予防についてご講義いただくとともに、予防プログラムの簡単な体験も行います。

15:00 ~ 16:50

講義 認知症施策の動向、自治体の役割+意見交換・質疑応答

認知症介護研究・研修東京センター 研究部長 永田 久美子 氏
新オレンジプランを活かして各自治体として認知症施策を進めていくために、今の時期に必要な視点・考え方および参考事例についてご講義いただきます。

17:30 ~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25 ~ 10:15

事例紹介 認知症にやさしい地域づくり

福岡県大牟田市 保健福祉部健康福祉推進室 室長 池田 武俊 氏
大牟田市では、認知症施策として、地域認知症ケアコミュニティ推進事業を2001年から取り組まれています。また、「認知症の人とともに暮らすまちづくり宣言」を行い、認知症の方を地域ぐるみで支えるために多職種協働・多世代交流・地域協働で認知症施策を推進されております。その歩みと現在の取り組みをお話しいたできます。

10:25 ~ 11:15

事例紹介 連携体制の構築、情報共有支援

長崎県諫早市 健康福祉部高齢介護課 岩本 節子 氏
諫早市では、医療・介護・地域の関係者とともに、認知症になっても困らないように今までの暮らし方やこれからの生活への希望を記入する「いさはやオレンジ手帳」や認知症の人がよりよい医療や介護を受けるための「オレンジ連携シート」を作成されています。また、多職種協働研修も積極的に実施されております。認知症施策の推進に不可欠な連携や情報共有の体制構築のポイントについて取り組みを通じてお話しいたできます。

11:20 ~ 12:00

意見交換・質疑応答

自団体の状況や感想を受講者同士で意見交換し、さらに深めたい点については事例紹介をいただいた2名の講師からコメント等をいただきます。

13:00 ~ 14:10

講義 成年後見制度を中心とした認知症の方の権利保護

長野県上伊那成年後見センター 所長 矢澤 秀樹 氏
上伊那成年後見センターでは、8市町村圏域内の成年後見制度に関する相談の窓口を設置されています。また、各市町村や福祉関係者への研修や市民後見人の育成・支援にも力を入れておられます。今後、さらなる需要の増加が見込まれる認知症の方の成年後見制度利用をいかに有効に機能させるのか、その取り組みをご紹介します。

14:25 ~ 17:00

課題演習 グループ討議

奈良県生駒市 福祉健康部 次長 田中 明美 氏
2025年に向けて、自団体における認知症施策をどのように進めていくかを受講者同士で意見交換しながら考えます。

平成31年

2月

15日(金)

9:25 ~ 14:10

課題演習 発表・講評

課題演習 総括講義

奈良県生駒市 福祉健康部 次長 田中 明美 氏
前日議論した内容を発表し、講師から講評をいただきます。また、研修の締めくくりとして、3日間の研修のまとめを行っていただきます。

14:10 ~ 14:40 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。